

## 流域情報

河川名	忠類幌内川		
調査地	道有林十勝管理区及び民有地(幕別町字忠類幌内、忠類中当)		
土地利用 の種類別 面積＝流 域面積	森林	2,900.0 ha	75%
	(うち道有林)	(650) ha	(17%)
	農地(畑)	870.0 ha	22%
	草地等	95.0 ha	2%
	宅地	5.0 ha	1%
		ha	
	計	3,870.0 ha	100.00%
地 質	未固結堆積物	2,300 ha	59%
	半固結-固結堆積物	370 ha	10%
	火山性岩石	1,200 ha	31%
	計	3,870.0 ha	100.00%

### ○濁度とは？

濁りの程度を数値化したものです。NTU(Nepelome Turbidity Unit)という単位で表し、数値が大きいと濁っているということになります。

濁水の原因物質は浮遊土砂であり、「浮遊土砂の濃度」は濁りを表す大事な指標の一つですが、分析に時間と手間がかかるため、濁りの程度を数値化した「濁度」を指標として本調査を行います。

### ○きれいな水と濁った水の標準的な濁度は？

濁度が10NTU未満であれば見た目には透き通っています。また国の定めた水質基準では、人の飲用及び生活利用のために水道水が満たしていなければならない濁度は2NTU以下とされています。

逆に、一般的に濁っていると判断される濁度は100NTU以上とされています。

### ○濁度と降水量、地質との関係などの傾向

総雨量が30mm以上になると濁りが目立ってきます。

3時間で30mm程度の大雨の直後には一時的に数百NTUという高い濁度になることがありますが、今までの調査結果では3～4日後には元の濁度に戻っています。

融雪時には、まとまった降雨のときと同様、かなり高い値を示します。

濁度と地質の関係は、泥岩地質のほうが砂岩・泥岩互層地質よりも濁度が高い傾向があります。